

増税・負担増による区民への影響は… 命・くらし最優先の区政執行を求めます



約20億円、基金総額も増加(下表)しており十分対応可能です。一方西川区政は、来年度から全小中学生にタブレットPCを

本議会で審議する決算年度2012年は、介護保険料大幅値上げ、扶養控除廃止・縮小、加えて年金削減など負担増が押し寄せた年でした。共産党は、区独自でくらしを応援する5億円規模の予算修正と条例を提案しましたが、区当局や与党派は、財源など理由に拒否。しかし、今回の決算を見ると、決算剰余金は

**消費税増税や社会保障削減への区の対応は…？
介護や医療、教育の負担軽減など具体的支援を**

毎年8億円の予算で配備する政策判断をしたようです。では、介護医療の負担軽減や子ども貧困解決などは、検討されたのでしょうか。今議会でも施策の優先順位を区民生活の立場から問い直していきたいと思えます。また議案審査に当たっても区民の立場でチェックしていきます。みなさんのご意見をお寄せください。

区長提出の主な議案

2012年度一般会計などの決算	一般会計、国民健康・後期医療・介護保険各会計決算
(仮称)子ども子育て会議条例	子ども・子育て支援法に基づき設置、保育などの計画を策定
特別区税条例の一部改正	延滞金の引き下げなど
自転車駐車場条例の一部改正	新たに三河島駅前に駐車場設置
尾久八幡中旧校舎解体工事契約の変更	住宅の賃料縮減などに伴う変更(1884万円に1480万円を追加)
調停の申し立て	南千住、西尾久3の借り上げ高齢者住宅の賃料縮減などについて、所有者との調停を申し立てる
各施設の指定管理者の指定(来年度から)	4つの保育園(全て継続) 5つのふれあい館(全て継続) 町屋など6通所センター(全て継続) 老人福祉センター(継続) 障害者福祉会館(継続) 荒川授産所(継続) 尾久生活実習所(継続) 障害者グループホーム(新) 精神障害者支援センター(継続) 日暮里自転車駐車場(継続)
人権擁護委員候補者の推薦 補正予算は下表参照	鈴木文男氏(西尾久)

2013年度一般会計補正予算...主な項目

	内容	補正金額
私立認可保育園開設支援	南千住7、8、東日暮里4の3ヶ所	4億5000万円
保育従事者処遇改善	国・都の処遇改善事業に基づく事業	7100万円
六日小拡張用地取得・工事	隣接地の約51㎡	3600万円
基金積立金	決算確定で決算剰余金の半分など積立	12億7000万円
国保会計繰り出し金	国庫負担金を国に返還	6億8900万円
合計補正額		24億8000万円

区の財政状況(決算から)

	2012年度	2011年度
決算剰余金(使い残し)	20億円	23億円
基金残高(区の貯金)	250億円	248億円
区債残高(区の借金)	221億円	206億円
歳出決算額	831億円	869億円

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

512

2013年9月1日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
x-✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
x-✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。

裏面 防災問題、9月
議会の詳細日程など

定例法律相談会

9月2日(月)
10月7日(月)

午後6時~8時
横山区議事務所

お急ぎの場合は、北千住法律事務所
の相談日などご紹介します。生活相
談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

立秋を過ぎても猛暑続きでしたがやっとな秋の気配も一方で、全国では局地的大雨による被害が続いています。先日議会準備をしながら窓の外、スカイツリー方向を眺めると、青空に秋らしい雲がたなびいているのが目に入りました。そういえば、朝晩、涼しい風を感じるようになりました。秋は、今年も確実に近づいていることを日々実感しています。同時に気になるのが、連日のように局地的な豪雨による災害がくり返し発生していることです。日本が温帯から亜熱帯になってきているよつだとお感じの方も多いはず。私は、行動する際には、必ず天気予報を確認しながら動くことにしています。そこで役立っているのが東京都下水道局の「東京アメッシュ」と言うサイト。それを見ていると、この夏23区の雲のなっていないとこ



ろに突然分厚い雨雲(入道雲)が発生し短時間でゲリラ豪雨が起きます。ヒートアイランド現象もあるでしょう。人為的な環境破壊に警鐘を鳴らしているようです。
横山幸次



関東大震災から今年で90年… 首都直下地震などからいのちを守る対策を

**まず家族で身の回りの危険要因の調査を
災害は生活現場から起きています…**

今年、関東大震災から90年の節目です。その後、阪神淡路大震災、2年半前の東日本大震災はじめ幾多の大地震を経験してきました。その教訓は、生かされてきたでしょうか。いま安倍政権が「国土強靱化」などと言って大型公共事業を復活。かつての自民党政治の下で数百兆円に上る公共事業が実施されましたが、国土は「強靱」になったでしょうか。依然として災害への弱さを露呈し続けているのではないのでしょうか。大地震などによる災害を未然防ぐ災害予防の遅れを国や地方自治体の強化が急がれています。

責任で果たさせることです。同時に、まず第一撃から命を守るための個人、家庭、地域、学校での取り組みも重要です。防災訓練に参加することも大事です。また家庭や地域の危険要因をきちんとつかんで、改善する努力が必要です。左の表なども参考にし、家庭や地域の点検・チェックし危険要因の確認とその除去の手だてをとることが必要です。個々で対応できない場合、積極的に区をはじめ公的機関に対応を求めましょう。地域コミュニケーションによる防災機能強化が急がれています。

身の周りの危険要因

危険な場所		危険要因
居住地	自宅	・耐震性の無い家屋、柱・梁・土台などの欠陥 ・固定されていない家具・食器棚、飛散しやすい窓ガラス、落下しやすい食器など
	自宅の周り	・埋土や盛土などの宅地造成地 ・基礎、配筋、控壁などが無いブロック塀や石塀 ・鉄筋の腐食など強度が低下している電柱 ・据え付け台に堅結されていない自動販売機 ・飛散しやすい窓ガラス、固定されていない瓦など
外出先	街中 商店街	・固定されていない看板 ・破壊・飛散しやすいガラス ・強度が低下している電柱 ・据え付け台に堅結されていない自動販売機など
	地下街 デパート スーパー	・来訪者のパニック ・階段や出口への殺到 ・商品の転倒や落下 ・出火に伴う煙の充満、視界不良
	電車・地下鉄・バス	・荷物棚からの落下物 ・揺れによる転倒
	海岸・河口	・津波 ・高潮 ・砂による走行障害

荒川区一次避難所開設運営訓練が実施されます



今年も9月以降、区と町会などで防災訓練が行われます。昨年同様、避難所の開設と運営訓練にするそうです。主な訓練内容は、避難所開設に関わる安否確認、避難者数確認、MCA無線機、バルーン型投光機、応急救護、簡易トイレ、炊き出しなどです。

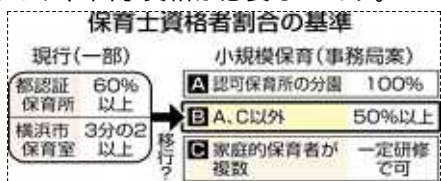
今後、住民全体への周知とより実践的な訓練内容についての検証を深めることが必要です。

地域	場所	日程	時間
荒川	二俣小	9月 1日 (日)	10時00分～12時00分
	生涯学習センター	9月29日 (日)	9時30分～12時00分
白暮台	諏訪台中	9月29日 (日)	9時30分～12時00分
町屋	7俣小	9月 8日 (日)	9時00分～12時00分
	5俣小	9月28日 (土)	10時00分～12時00分
尾久東部	原中	10月13日 (日)	9時30分～12時00分
	赤土小	9月 8日 (日)	9時20分～12時00分
尾久西部	尾久宮前小	9月 8日 (日)	10時00分～12時00分

保育士が半分で運営できる保育所が出来る…？ 子どもの成長と命預かる専門職だから保育士は国家資格！

子ども・子育て支援法ができて、保育がどう変わっていくのでしょうか。政府の考えを分かりやすく示す内容が、東京新聞にありました。それによると、国が2年後には始める「小規模保育」（新制度・0～2歳児対象、定員6～19人）では、保育士資格者が50%でも可能という案が出ているようです。「規制緩和」して待機児解消を安上がりに進めようとしている意図が見え見えます。しかも相手は、低年齢児で保育に経験や知識が必要です。保育は、子どもの命を預かる、だからこそ専門性が求められ、国家資格が必要なのです。

子ども達の育ちと命を守るため、質の確保をしっかりと進めることが求められています。



9月区議会の日程

- 9月9日 13時～ 本会議 各会派の質問
- 14時頃 日本共産党の代表質問(小林議員)
(ぜひ傍聴にお出かけ下さい)
- 11日 13時～ 本会議 各会派の質問
- 12日 10時～ 総務企画委員会
- " 福祉・区民委員会
- 17日 10時～ 文教・子育て委員会
- " 建設環境委員会
- 決算特別委員会 以下の10時～15時
- 9月19日・20日・25日・26日・27日・30日
- 10月1日・3日
- 10月7日 11時～ 議運委員会
- 8日 13時～ 最終本会議

